

いのちとくらしをまもる
防災減災令和8年9月30日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

国道57号(中九州横断道路)

たきむろざか なみの いちのみや
滝室坂道路(波野IC～一の宮IC)が

令和8年11月28日(土)16時30分に開通します。

～地域の防災力の向上、安全性の向上、物流効率化を支援します～

- 国道57号 滝室坂道路は、大分市と熊本市を結ぶ高規格道路「中九州横断道路」の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路です。
- このたび、滝室坂道路(波野IC～一の宮IC 間)(延長 6.3km)において、下記の通り、開通することとなりましたのでお知らせ致します。
- 開通日時: 令和8年11月28日(土)16:30～
- 開通区間: 波野IC～一の宮IC 間(延長 6.3km)

○開通に先立ち、以下の通り「開通式典」の開催を予定しております。

■開通式典

- ・日 時: 令和8年11月28日(土)13:00～(受付12:30～)
- ・場 所: 一の宮IC 付近(阿蘇市一の宮町坂梨字平保ノ木686-1)
- ・主 催: 熊本河川国道事務所、熊本県、阿蘇市
- ・内 容: 来賓祝辞、テープカット、通り初め 等

○開通により期待される主な効果

- ・防災力の向上 災害時における信頼性の高い道路ネットワークを構築
- ・安全性の向上 走行性・信頼性及び交通安全性の向上
- ・物流効率化 製造業等に対する物流効率化を支援

<報道機関の皆様へ>

- ・現地での取材・撮影を希望される方は、駐車場確保のため、別添①「送信票」による事前申し込みをお願いします。
- ・駐車場は係員の指示に従い駐車してください。

※今回開通する道路は、無料で通行できる自動車専用道路です。
(125cc 以下の二輪車及び自転車・歩行者通行不可)

問い合わせ先: 国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所

【総 括】技術副所長 山下 修 (内線 205)
【式典関連】総務課長 上田 秀樹 (内線 211)
【事業関連】総括保全対策官 中島 勇一 (内線 308)

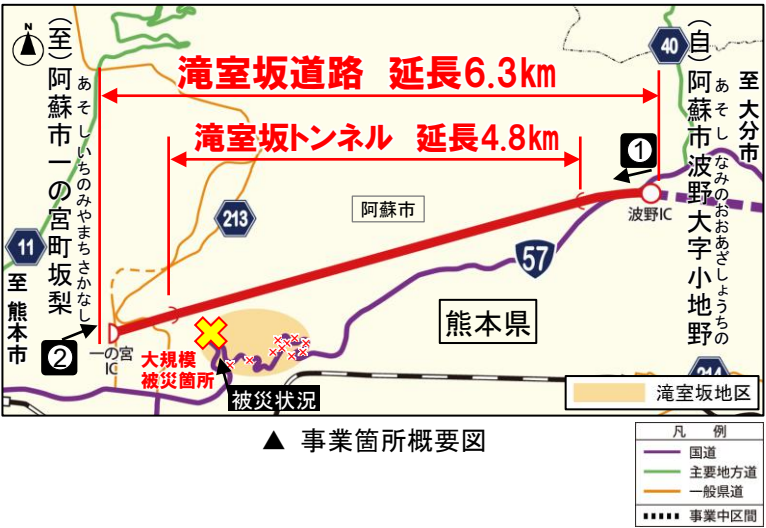
TEL: 096-382-1111(代表)

URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>

- 一般国道57号滝室坂道路は、高規格道路「中九州横断道路」の一部を形成し、災害発生時の代替路確保、走行性の向上等を目的とした事業である。
- 平成24年7月の九州北部豪雨により滝室坂地区の国道57号が激しく被災し、仮復旧まで40日間の全面通行止めが発生した。



▲ 中九州横断道路路線概要図（熊本県区間）

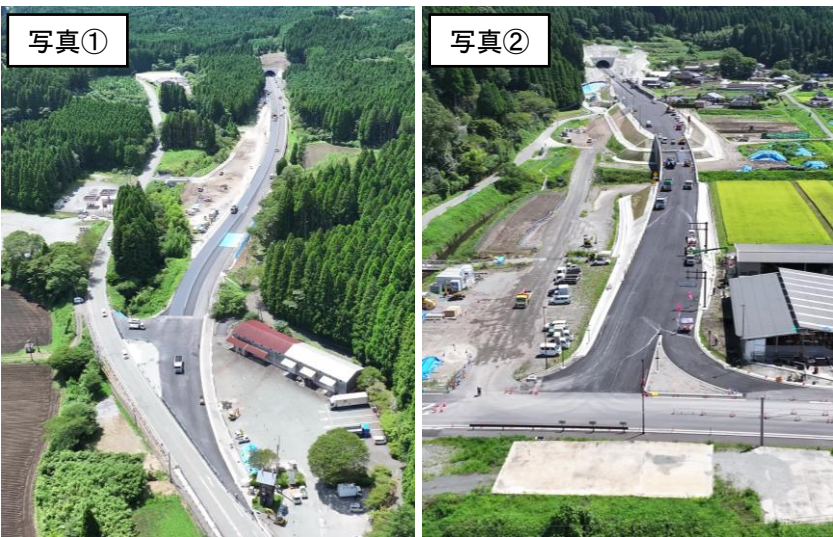


▲ 事業箇所概要図



▲ 被災状況 (H24. 7) と仮復旧状況 (H24. 8)

事業進捗状況 (R8. 8)

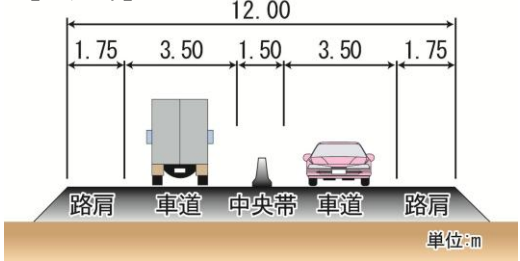


▲ 起点側 波野地区 (R8. 8)

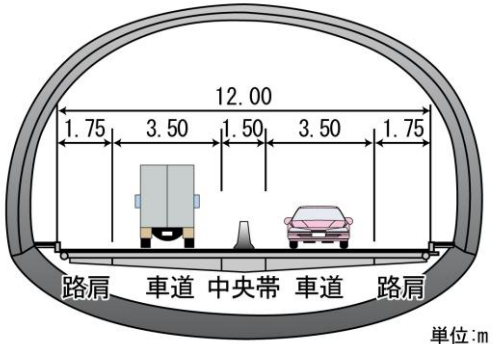
▲ 終点側 坂梨地区 (R8. 8)

事業区間	起) 熊本県阿蘇市波野大字小地野 終) 熊本県阿蘇市一の宮町坂梨
計画延長等	6. 3km (第1種第3級, 設計速度80km/h)
幅員	12. 0m (2車線)
事業化年度	平成25年度

【一般部】



【トンネル部】

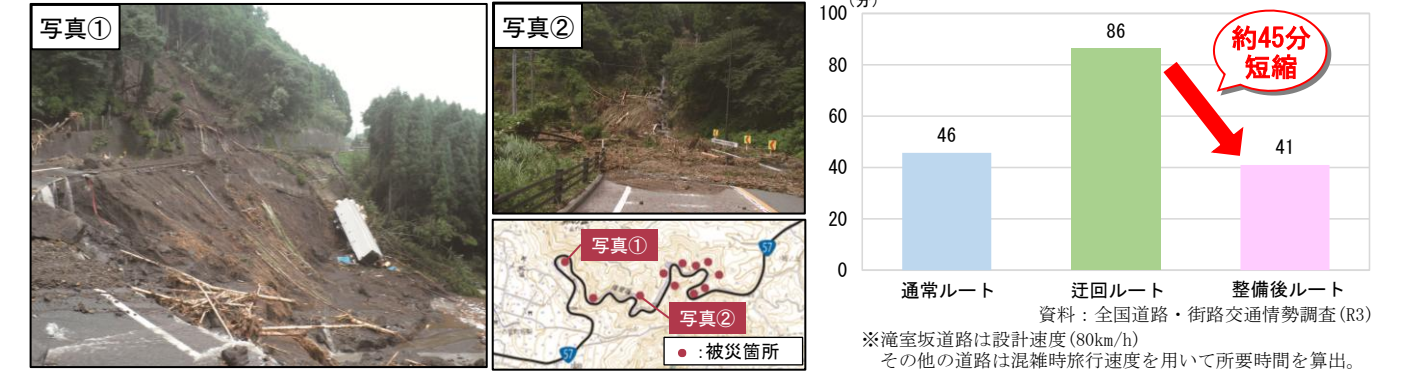


▲ 標準断面図

- 滝室坂地区は100mm以上の降雨日数が県平均を上回り、事前通行規制が頻発している。
- 過去には、平成24年（2012年）の九州北部豪雨や平成28年（2016年）の熊本地震などで国道57号が寸断され、地域住民の生活や九州全体の経済活動に大きな影響が発生。
- 滝室坂トンネル（約4.8km）を含む延長6.3kmの区間を整備することで、豪雨や地震などの自然災害が発生した際でも機能する確実なリダンダンシー（代替路）が確保される。

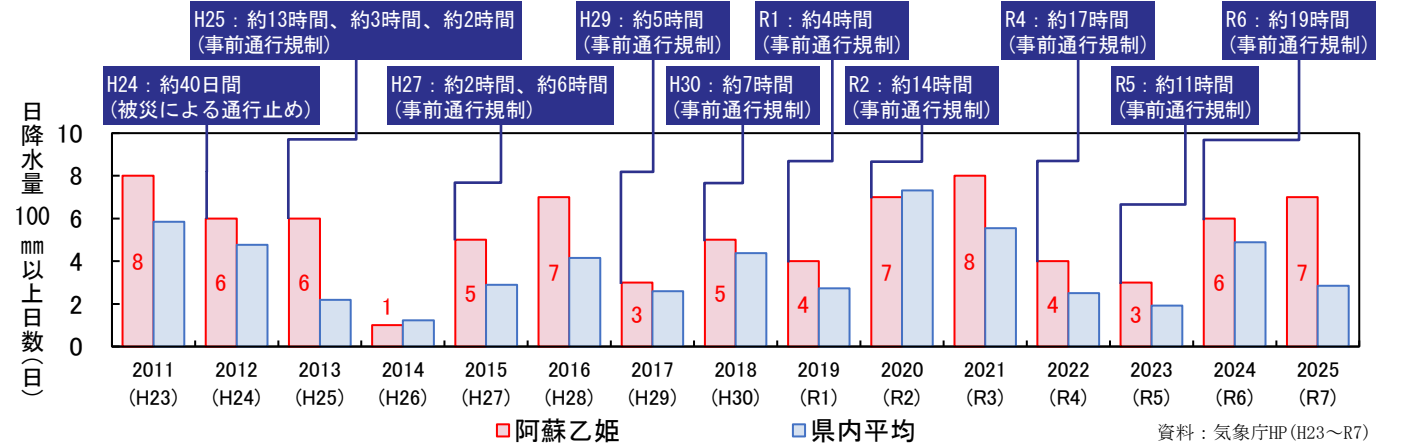


▲ 国道57号の事前通行規制区間と通行止め発生時の迂回ルート



▲ H24. 7災害時の被災状況（法面崩壊）

▲ 阿蘇市～竹田市の所要時間



※日降水量100mm以上の年間日数は、気象庁発表の「異常気象リスクマップ」の評価指標とされている。

※滝室坂地区は阿蘇乙姫、県内平均は他11観測所を含めて算出。

※事前通行規制基準雨量に達した場合に全面通行止めとなる。なお、事前通行規制基準雨量はR2. 10. 3に140mmから170mmに、R7. 4. 10に170mmから200mmに見直されている。

▲ 滝室坂地区の日降水量と全面通行止め履歴（H23～R7）

安全性の向上

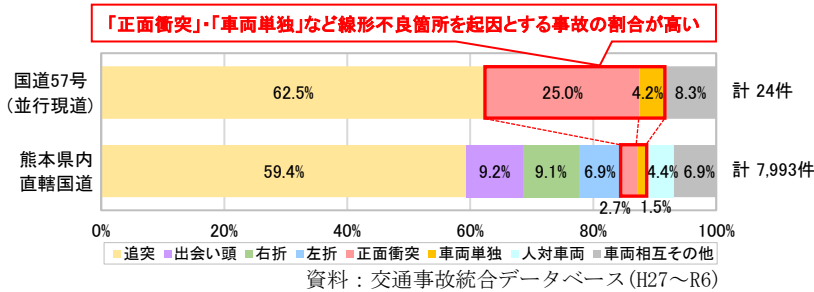
走行性・信頼性及び交通安全性の向上

[WISENET2050]

- 滝室坂道路に並行する国道57号滝室坂地区は、線形不良箇所が存在しており、これに起因すると想定される正面衝突や車両単独事故の割合が県内直轄国道と比べて高く、運搬物の落下事故も発生している。
- 加えて滝室坂地区は、標高が高く、積雪や路面凍結による通行規制の割合が高い。
- さらに、縦断勾配の急な箇所が存在し、スリップやスタックが生じやすいため冬季の事故割合が高く、減速による渋滞も発生している。
- 滝室坂道路の整備により、線形不良箇所の回避が可能となり、交通安全性の向上が期待されることや、路面凍結箇所をトンネル構造で回避可能となり、走行性及び信頼性の向上が期待される。



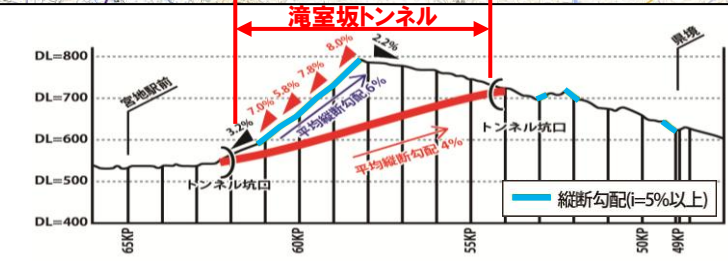
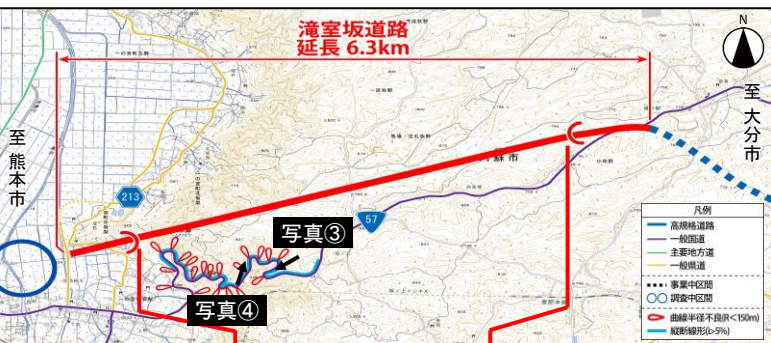
▲ 滝室坂地区の線形不良箇所



▲ 国道57号 (並行現道) の事故類型

・ 滝室坂地区はカーブや坂道が多く、一般車が中央線を越えて通行する可能性があり、事故の危険性がある。

(物流業者ヒアリング：R8. 7)



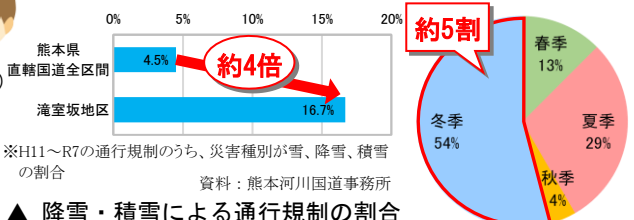
▲ 国道57号現道の縦断図



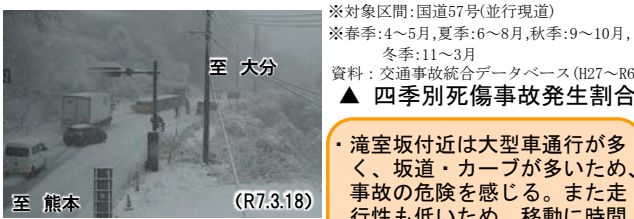
▲ 線形不良箇所の事故発生状況 (写真①)



▲ コンクリート桁落下事故発生状況 (写真②)



▲ 降雪・積雪による通行規制の割合



▲ スタック発生状況 (写真③)



▲ 冬季の渋滞発生状況 (写真④)

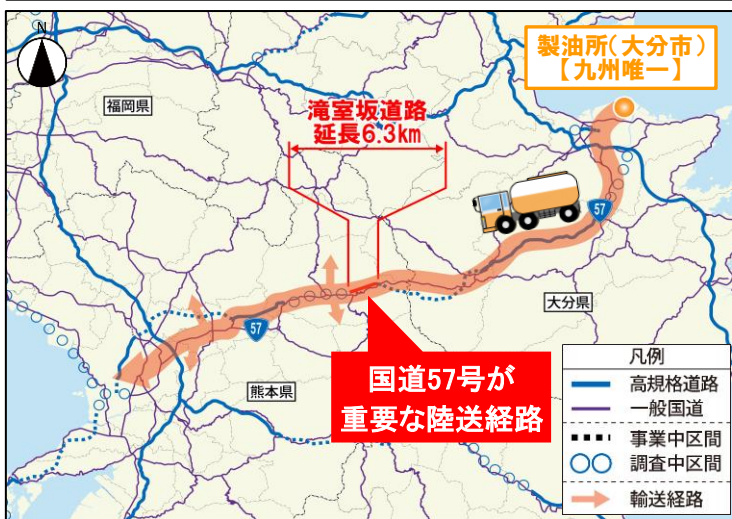
・ 滝室坂付近は大型車通行が多く、坂道・カーブが多いため、事故の危険を感じる。また走行性も低いため、移動に時間がかかっている。

・ 滝室坂道路整備により、トンネル開通により、移動がスムーズになり、災害・天候に左右されない移動経路の確保が期待される。

(阿蘇市役所ヒアリング：R8. 7)



- 国道57号は産業活動において重要な路線であり、熊本県で消費されるガソリン等は、九州唯一の製油所を有する大分市から陸送による輸送が主であり、そのほとんどが国道57号を利用している。
- また、熊本県には大手自動車メーカー国内唯一の二輪車生産拠点があり、完成二輪車は県外港から船積みされている。
- 熊本～大分間は一般道経由により時間を要し、走行性も悪く非効率な輸送となっている。
- 滝室坂道路の整備により、中九州横断道路の連続性が確保され、線形不良箇所の回避によるドライバーの負担軽減や所要時間の短縮につながり、効率的な輸送の実現により地域産業に貢献することが期待される。



資料：石油輸送業者ヒアリング(R8.7)

▲ 大分県から熊本県への陸送によるガソリン等の輸送ルート

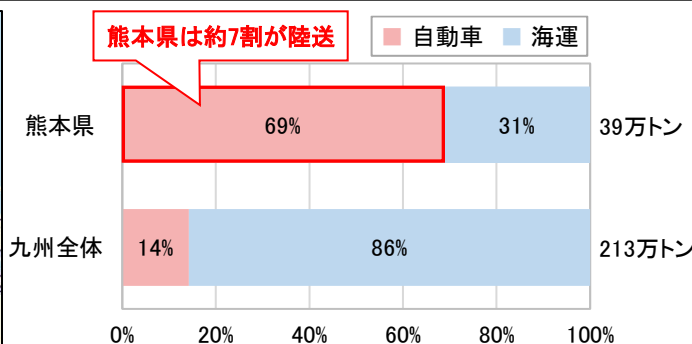
- ・ 滝室坂地区が通行止めとなった場合、大分自動車道を経由して輸送することになり、距離も長く、高速道路の利用料金もかかるため輸送コストが増大するといった問題がある。
- ・ 滝室坂道路の整備により、安定的に通行できるルートが確保されることで、客先の安心感の向上につながる。



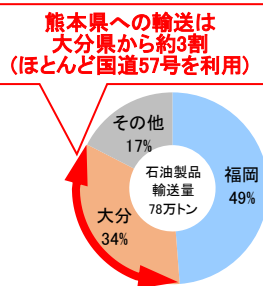
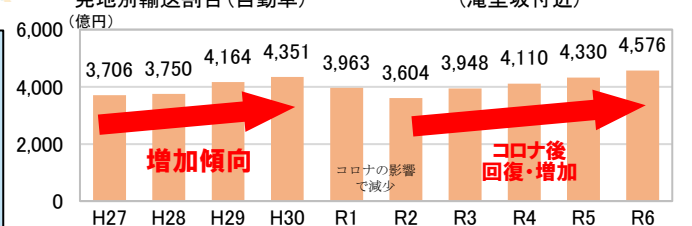
(石油輸送業者ヒアリング：R8.7)



▲ 完成二輪車の国内出荷時の主な輸送ルート



▲ 大分県からの石油製品の輸送量

▲ 熊本県への石油製品の
発地別輸送割合(自動車)▲ 国道57号の利用状況
(滝室坂付近)

▲ 輸送用機械器具製造業の出荷額の推移(熊本県)



※経路：[通常時]国道57号、[迂回時]国道212号・国道442号等経由、[整備後]滝室坂道路
 ※滝室坂道路は設計速度(80km/h)、その他の道路は混雑時旅行速度を用いて所要時間を算出。

▲ 二輪車組立工場～白杵港までの所要時間

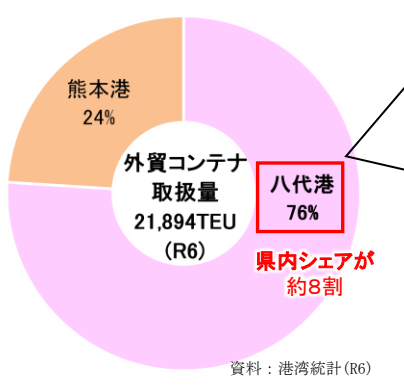
- ・ 滝室坂地区では完成二輪車の転倒を防ぐため、低速で走行する必要があるため時間がかかる。ドライバーの精神的な負担にもなっている。
- ・ さらに、通行止め時は迂回により輸送時間がかかるため、輸送コストの増加やドライバーの拘束時間の増加にもつながる。
- ・ 滝室坂道路の整備により、走行性が向上し輸送時間の短縮が期待される。また定時性の確保、輸送コストの削減等も期待される。

(物流業者ヒアリング：R8.8)

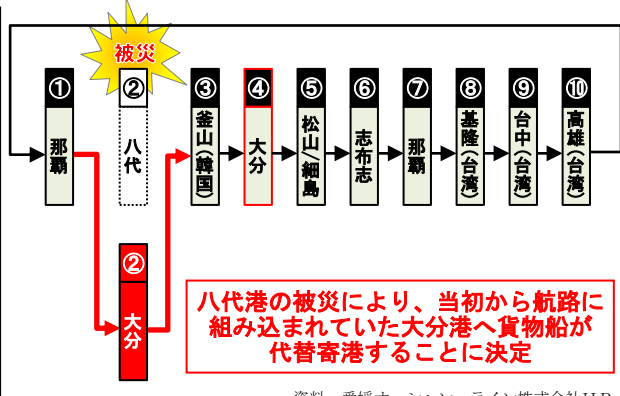
防災力の向上

八代港被災時の大分港からの代替輸送を支援

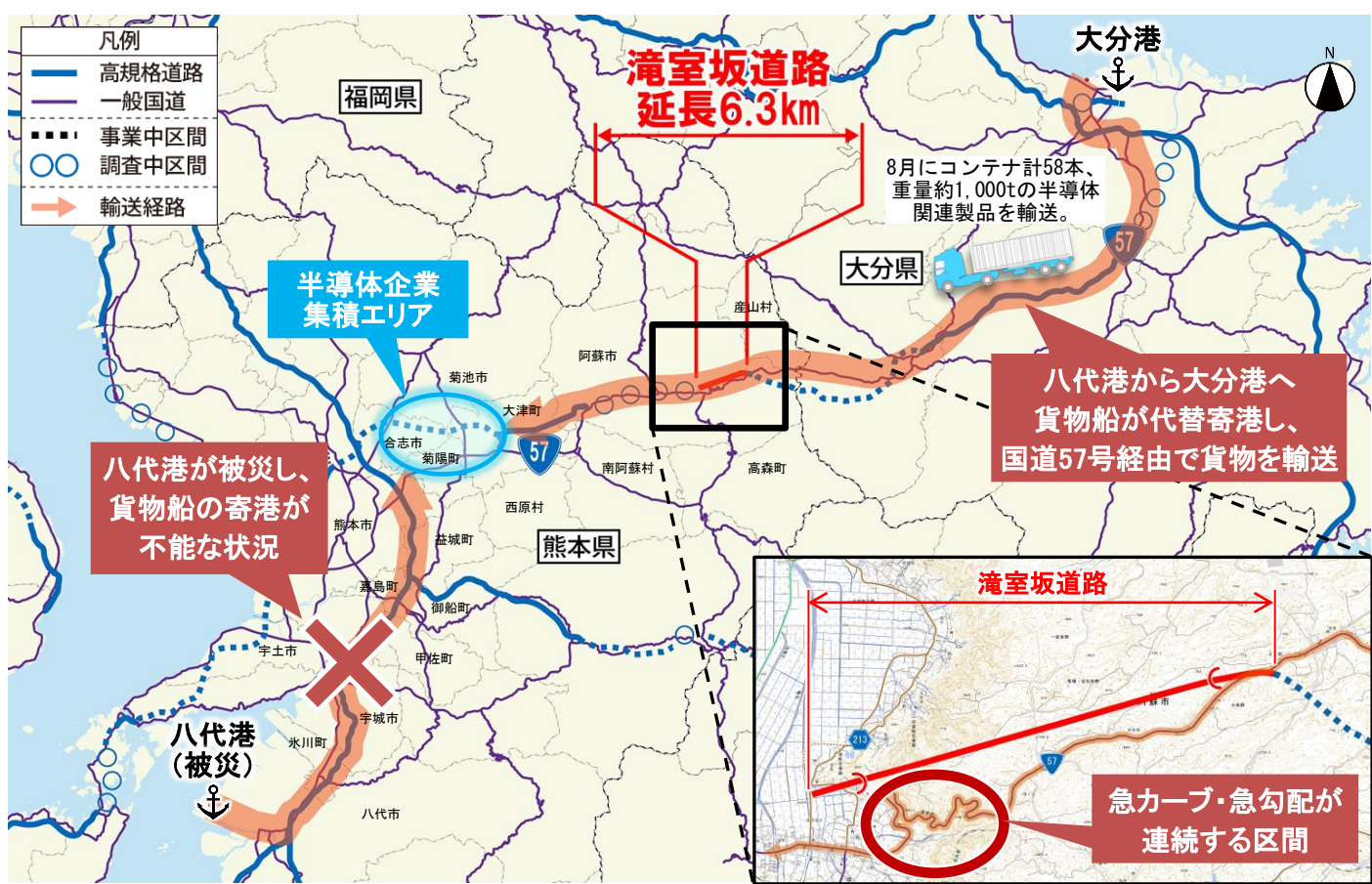
- 八代港は県内最大の国際コンテナ貨物取扱拠点であり、半導体企業が集積するエリアにとって、重要な輸送拠点の一つ。
- 令和8年熊本地震で八代港が被災した際は、大分港が八代港の代替機能を果たし、半導体企業集積地への物資搬入を維持することで、生産活動の停滞を防ぐことに寄与した。
- 滝室坂道路の整備により、国道57号の急カーブ・急勾配区間を回避できるようになり、大分港から熊本方面への大型車による物流ルートが強化されることが期待される。



▲ 八代港の県内シェア (国際コンテナ貨物)



▲ 熊本地震の際の日本～韓国～台湾航路の状況



▲ 令和8年熊本地震前後における、八代港・大分港から半導体企業集積エリアまでのコンテナ陸送ルート

- ・ 大分港から熊本方面までのコンテナの輸送には大型トレーラーを使用することから、国道57号の滝室坂の急カーブ・急勾配区間を通行する際は、非常に慎重な運転が必要とされる。
- ・ 滝室坂道路が整備されると、その区間を回避でき、スムーズに走行できるようになる。



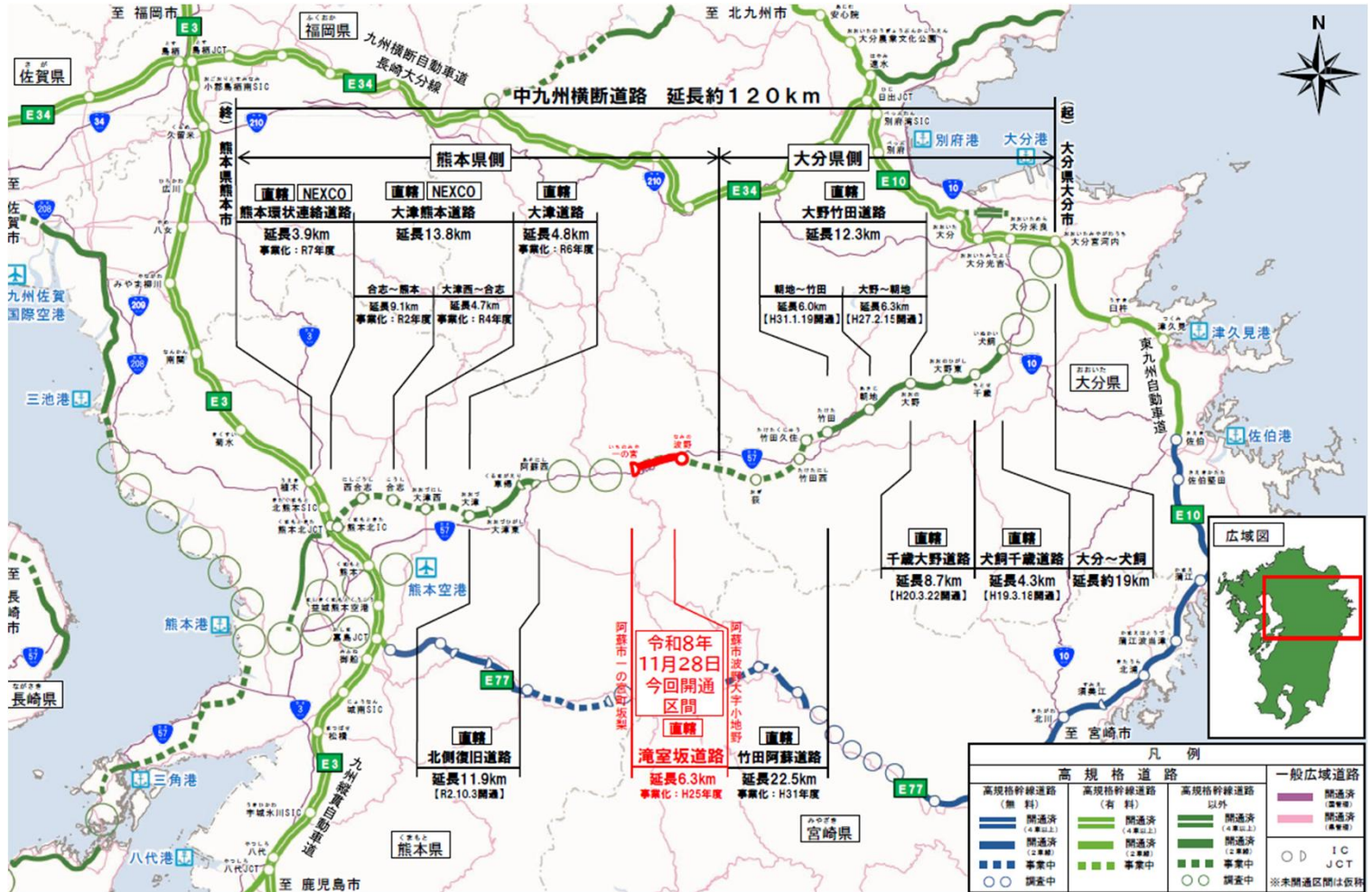
中九州横断道路

滝室坂道路（波野大字小地野～一の宮町坂梨） 開通式 式典会場 位置図

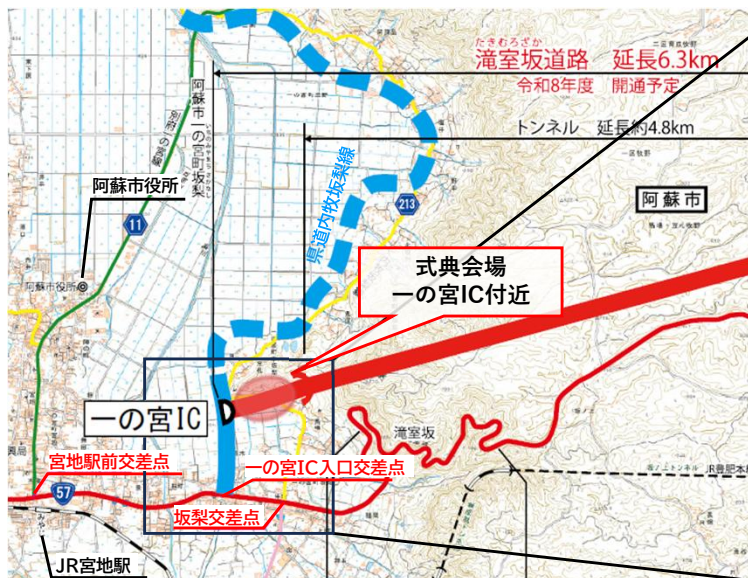
■日時：令和8年11月28日（土）13時00分～

■場所：滝室坂道路一の宮IC付近（熊本県阿蘇市一の宮町坂梨字平保ノ686-1）

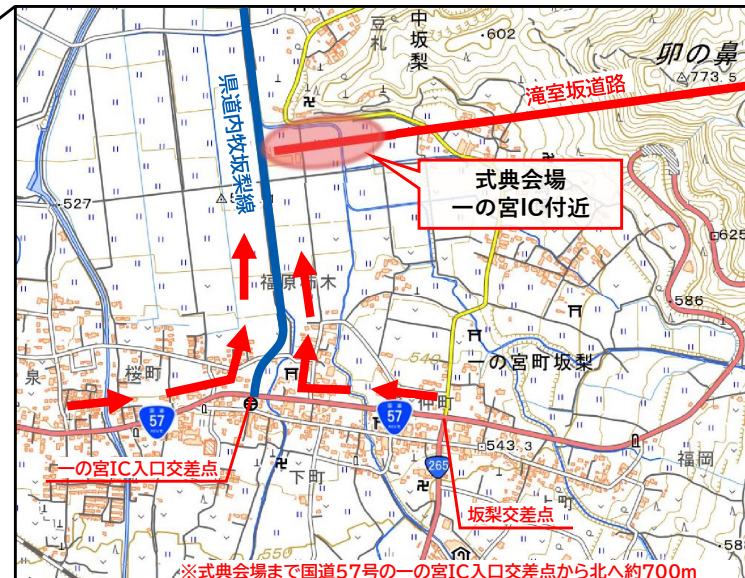
【全体図】



【詳細図】



【拡大図】



※報道関係者用

令和8年 月 日

国土交通省 九州地方整備局

熊本河川国道事務所 総務課 宛

(FAX: 096-382-0629)

国道57号(中九州横断道路) 滝室坂道路 開通式の開催について

【開催日: 令和8年11月28日(土) 13:00~(受付 12:30~)】

◆開通式(滝室坂道路一の宮 IC 付近 (熊本県阿蘇市一の宮町坂梨字平保ノ686-1))

機関名	参加(来場)人数	車台数	代表者連絡先
	名	台 (車種)	所属(部署) 氏名 連絡先(住所・TEL)

参加者ご記名欄 (参加者全員、フルネーム)		

※手書き記入で結構です。

※別途、事前申し込み頂いた連絡先に、当日の駐車券などを送付致しますので、
10月23日(金)17:00までに申し込みをお願いします。※会場(駐車場)へお越しの際は、車両前方から見えるフロントガラス付近に
駐車券を置いてください。

※当日の取材について、係員の指示に従い所定の場所に駐車をお願いします。

※代表者以外の方についても氏名記載にご協力をお願いします。